

令和6年（2024年）10月3日

## 欧州5カ国の大学とスマート農林業のための交流を強化します ～文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択～

### 【本件のポイント】

- 農学部・農学研究科からの申請が、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」（EU諸国との大学間交流形成支援）に採択された。採択は全国で9件のみ。
- ドイツ、イタリア、スペイン、ブルガリア、ルーマニアの計6大学とダブルディグリープログラムを構築し、そのネットワーク化を目指す。
- スマート農林業の先端技術が研究されている西欧の大学、その技術を必要とする東欧の大学の双方との交流を通じて、国際共同研究が展開される。



### 【概要】

農学部・農学研究科が申請していた「スマート農林業のためのダブルディグリープログラム網の構築」が、文部科学省の令和6年度公募事業「大学の世界展開力強化事業」に採択された。今年度を含めた5年間の事業で、事業規模は1480万円/年。既存のドイツおよびイタリアの大学とのダブルディグリー（DD）プログラムに加えて、新たに、スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学とのDDプログラム（修士課程）を構築し、山形大学を中心に、スマート農林業をテーマとするDDプログラムのネットワーク化を行う。DDプログラムでは、本学学生を相手国大学に派遣するとともに、欧州の学生を本学で受け入れる。それぞれ最低1年間の滞在を義務付ける。プログラム参加学生は、本事業から渡航費の支援が受けられる上に、留学中はJASSOから奨学金が支給される。農学部学生の動機付けのために、英語能力向上を図るための英語講座を開講する他、相手国大学への留学経験も積むことができる短期派遣事業も実施する。DDプログラムに参加できるのは農学研究科修士課程の学生のみであり、その入学試験（12月5日）の出願期間は10月22日～24日。詳細については下記の問い合わせ先まで。

### 【背景】

山形大学大学院農学研究科では、これまでライプニッツ・ハノーヴァー大学（ドイツ）およびトリノ大学（イタリア）とのダブルディグリー（DD）プログラムを構築してきた。この実績を活かし、さらに欧州の4大学とのDDプログラムを構築することで、山形大学を中心として欧州5カ国6大学を巻き込むDDプログラムのネットワーク化を行う。このネットワークはスマート農林業をテーマとし、AIを使ったスマート農林業の先端技術が研究されている西欧の大学だけでなく、その技術を必要とする東欧の大学との交流を深めることが目的である。

山形大学では、2022年度にアグリフードシステム先端研究センターが発足し、データにもとづく農業・畜産技術、食品の機能性のある化とその向上技術などの研究が進められている。本年度には農山村リジェネレーション共創研究センターも発足し、データにもとづく効率的な森林管理に関する研究が予定されている。これらのリソースを利用しながら、本交流プログラムの核心となるAIを農林業に応用する国際共同研究を展開する。

### 【取組内容】

- スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学とのDDプログラムを順次構築する。そのために、相手国大学との間で教員や事務職員の交流を行う。
- 既存のDDプログラム、および、新たに構築されるDDプログラムでは、本学学生を相手国大学に派遣するとともに、相手国大学の学生を本学で受け入れる。それぞれ最低1年間の滞在を義務付ける。
- DDプログラム参加に支障がないように、本学学生の英語能力向上を図るための英語講座を開講する。

お問い合わせ

鶴岡キャンパス事務部学務課国際室

TEL 0235-28-2847/2827 メール [yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

- サマー（ウインター）スクールと呼ばれる短期派遣・受入事業を実施し、留学経験を通じて、本学および相手国大学の学生の中から DD プログラム参加者を増やす。
- オンラインでの授業配信も行い、渡航できない学生の交流を活性化。また、プログラムの認知度を高める。
- オンライン交流会を開催し、各大学の教員による講演の他、DD プログラム参加学生からの報告等を行う。

### **【今後の展望】**

本学では、留学経験者、受け入れ留学生がともに増え、国際化が促進される。DD プログラムの学生は、本学と相手国大学の教員が共同で指導するため、その成果をもとに国際共著論文が増える。ネットワークのハブとして機能する山形大学のプレゼンスが高まることで、ネットワーク外からも優秀な留学生が集まる拠点を目指す。

令和6年度大学教育再生戦略推進費  
「大学の世界展開力強化事業」  
～EU諸国等との大学間交流形成支援～

# スマート農林業のための ダブルディグリープログラム網の構築

## Network of double-degree programs for smart agriculture and forestry

事業者	: 玉手英利	学長
事業責任者	: 村山秀樹	副学長（国際交流担当）
実施責任者	: 渡部 徹	農学部長・農学研究科長

（2024～2028年度, 14,800千円／年）

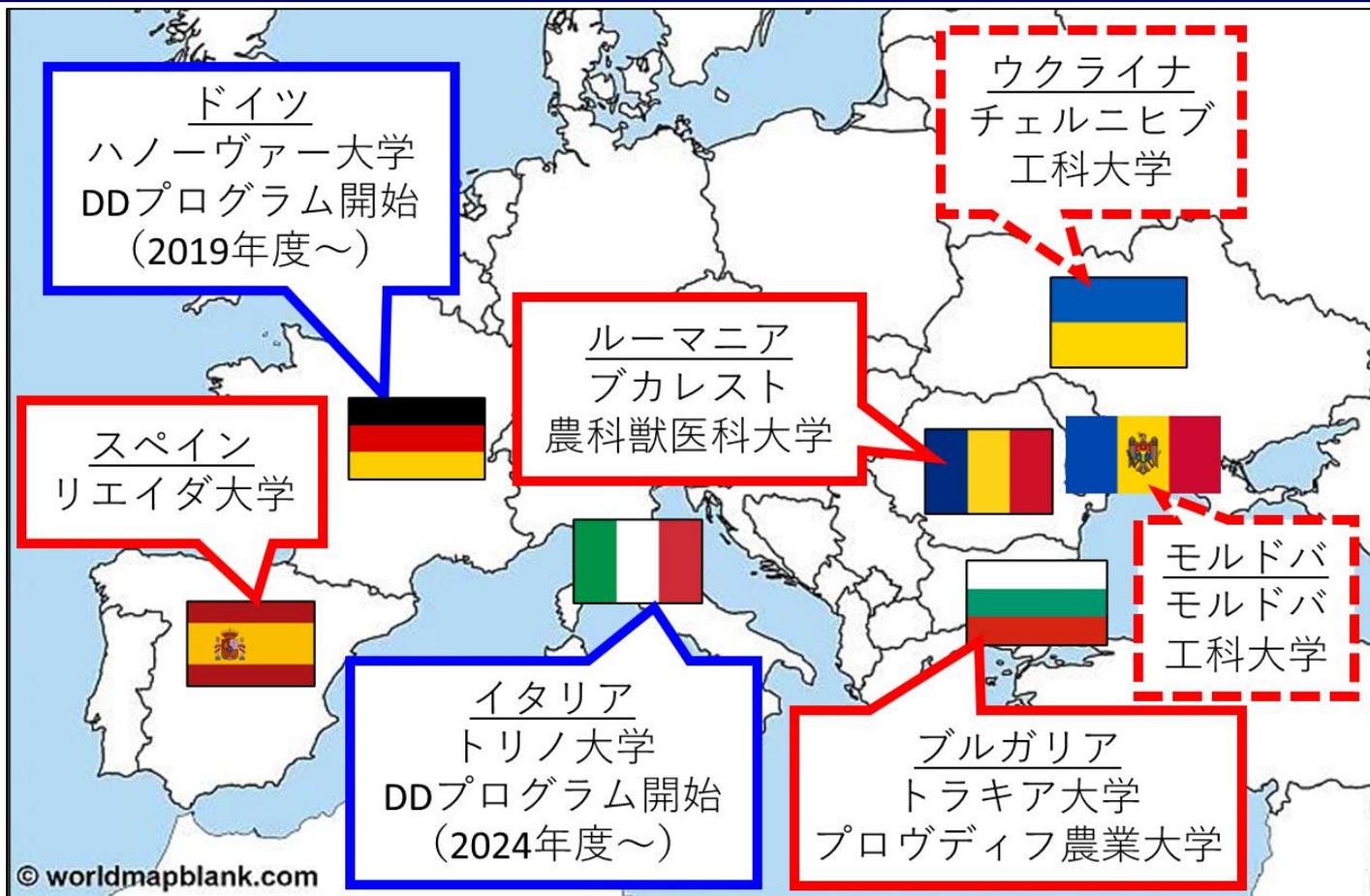
山形大学（農学研究科修士課程）とドイツおよびイタリアの大学とのダブルディグリー（DD）プログラムの実績



東欧も含めた欧州5カ国6大学とDDプログラムを構築し、**山形大学を中心としたDDプログラムのネットワーク化**



AIを使ったスマート農林業の先端技術が研究されている**西欧の大学だけでなく**、その技術を必要とする**東欧の大学との交流を実現**



※ウクライナとモルドバについては、独自で交流を行う。

欧州の中でも農業が盛んなブルガリアでは、事業責任者の村山がー昨年、同国の大統領、日本大使に面会。農業分野での教育研究への協力について直接要請を受けた。



# 交流プログラムの内容

## ①短期の学生交流

夏は欧州（山形大学の学生が対象）、冬は日本（欧州の学生が対象）で短期学生交流を実施。**DDプログラムへの参加を促進。**



日本

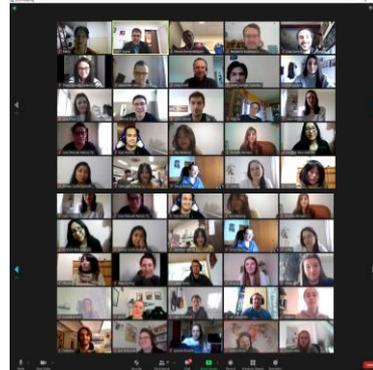


イタリア

## ダブルディグリープログラムの実施

### ②オンライン講義

参加大学間で多様なオンライン講義を実施。山形大学では15の講義科目が英語で提供されており、それをオンデマンド配信。



JV-Campusの積極利用

### ③長期の学生交流

DDプログラム参加学生を日欧の教員が共同で研究指導を行い、それを通じた**国際共同研究を展開**。研究成果に関する**国際シンポジウムを開催**。

国際共著論文の増加

### 山形大学の教育研究リソース

- アグリフードシステム先端研究センター：データにもとづく環境保全型農業，食品機能開発
- 農山村リジェネレーション共創研究センター：データにもとづく持続可能な森林管理技術開発
- データサイエンス教育研究推進センター：AIを含むデータサイエンス教育を提供



### 養成する人材像

- AIに関する基礎知識を身に付け，その知識を農林業に関わる研究に応用できる人材
- 山形大学が得意とする環境保全型農林業をベースとしたスマート農林業を理解している人材
- 各国の課題を正しく理解し，自身が学んだ知識や技術で課題解決に取り組むことができる人材

地域住民と留学生の交流，小中高校での外国語学習や異文化交流，労働力不足の解消といった地域のニーズに，本交流プログラムに参加する留学生，それを支える留学生サポーター（農学部の日本人学生）がお手伝いします。お気軽にご相談ください。

## 留学生サポーター制度による 学内外での国際交流の活性化

### 国際交流料理イベント



### 庄内浜伝道師講座

10月6日(日)には，馬見ヶ崎川河川敷において「やまがた横断国際交流事業：庄内・村山食べ比べ芋煮会」を開催します(既報)。

## 小中高校への留学生派遣

### 山形県立致道館高等学校



同校のSSH事業(英語を使う活動)に全面協力。

### 酒田市立泉小学校



3年生の交流活動。酒田市国際交流サロンからの依頼。

DOUBLEDGREE

DOU

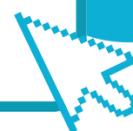
山形大学大学院農学研究科  
ダブルディグリー  
プログラム

GREE

DOU

GREE

山形大学農学部学務課国際室



DOUBLEDGREE

ダブルディグリープログラム  
とは

修士課程の2年間で

- ・ 山形大学
- ・ 海外の協定大学

2大学の学位取得

を目指すプログラム



## プログラムの例

### ■ ハノーヴァー大学のダブルディグリープログラムに参加した場合（例）

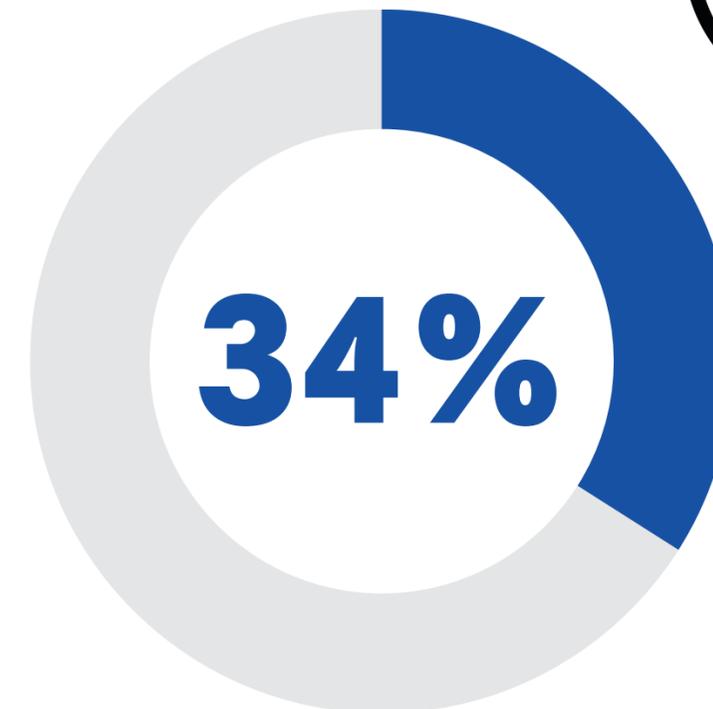


学位論文  
(英語)

## ■2028年度までの金銭的サポート

1. 海外滞在中の奨学金 80,000円×12ヵ月
2. 渡航費補助130,000円
3. 往路航空券代（大学が手配）

→120万円程度の補助



自己負担は  
3分の1程度

『若い頃の自分に『〇〇はやっておけ』と伝えたいこと』

- 1位 『外国語を学ぶ』
- 2位 『海外旅行』
- 3位 『人脈を広げる』

→全部、  
ダブルディグリープログラムで  
叶います！



# 一生モノの 経験を。

大学院修士課程で、  
『海外留学』に挑戦してみませんか？

学生でいられる時間は、  
長いようで、とても短い。

人生を変える2年間で、  
ダブルディグリープログラムが叶えます。

## ダブルディグリープログラム

- 対象校 | ライプニッツ・ハノーヴァー大学（ドイツ）  
トリノ大学（イタリア）\*1
- 留学期間 | 1年間
- 対象学生 | 山形大学大学院農学研究科 入学予定者  
大学院入学後の参加も可能\*2
- 出願期間 | 大学院入試出願時 or 12月末  
(翌4月参加開始の場合)
- 参加条件 | TOEIC L&R 700点以上 \*3  
書類審査、面接審査あり

## Yamagata Univ. Graduate School of Agricultural Sciences

〒997-8555  
山形県鶴岡市若葉町1-23  
yu-nogaku-ryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>



\*1 2025年4月時点。2026年度以降スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学にも対象校を拡大予定。

\*2 入学後の参加の場合、参加時点から2年間在籍する必要があります。

\*3 2024年10月現在

# ココがすごい

修士課程の  
**2年間で**  
山形大学と海外協定大学  
**2つの学位**  
の取得を目指す！

2025年4月時点の協定大学  
・ハノーヴァー大学（ドイツ）  
・トリノ大学（イタリア）

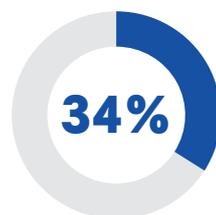


UNIVERSITÀ  
DI TORINO

\*2026年度以降スペイン、ブルガリア、ルーマニアの大学にも対象校を拡大予定。

滞在中の奨学金  
渡航費補助など  
**留学費用の  
手厚いサポート**

学費はそのまま。  
奨学金月額80,000円  
往路航空券は大学負担



留学費用が  
約3分の1に！

英語クラス開講  
TOEIC受験料補助など  
**学部在学中から  
語学サポート**

\*山形大学生のみ対象

語学に不安がある人も  
強力バックアップ！



## 学部長からのメッセージ

急速に進む国際化社会の中で、日本の大学の学位だけで安心できますか？そして、大学卒の学歴で十分ですか？みなさんならもっと出来る。ダブルディグリープログラム、是非挑戦してください。